

安全運転の心得

人の命の尊さを覚える

道路に歩いているすべての歩行者、自転車を運転している人、まわりのドライバー、それらのすべてが自分の家族のように考えると安全運転に変わるはずです。

交通ルールを覚えて守る

交通規則を守ることは、運転者の義務です。ちょっとだけ…自分だけは許されるだろうという思いを持たないことです。

運転は人格が現れる

運転には、運転者の悪い性格が出てしまうことを肝に銘じて自分の人格上の悪い点を理解しなおすようにしましょう。

集中して運転

道路状況はいつも変化しています。そのために、絶えず注意力を上げて集中して運転することが重要です。スマートフォン、携帯を運転中に操作してはなりません。

「お先にどうぞ」という余裕を持つ

交通ルールは万能ではありません。譲り合いの精神が安全運転のコツです。

「もしかして運転」を心がける

「だろう運転」交通事故の大きな要因と言われています。大丈夫だろうと思う心の隙が危険な事故を起こしてしまいます。「もしかして運転」が、安全運転のコツです。

心の状態を平静に保つ

「怒っている」「焦っている」「おどり」「疲れている」「イライラしている」などの心理状態はドライバーが事故を起こす要因となります。

「私は運転が得意だ」と過信は禁物

私は事故を起こしたことがない!といった矢先に事故を起こすことがあります。自分の運転能力を過信しないことが安全運転のコツです。

服装と履物が重要

私は事故を起こしたことがない!といった矢先に事故を起こすことがあります。自分の運転能力を過信しないことが安全運転のコツです。